

ヘルスジョガー HJ-2021

家庭用

困ったと思ったら

コンセントにアースが無い…P14

電源が入らない…P13・P17

エラー表示…P18

走行ベルトがずれている…P22

走行ベルトがスリップする…P22

付属のシリコンスプレー使用方法…P23



取扱説明書

組立て、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき正しくご使用いただきますようお願いいたします。

この説明書はお読みになった後も大切に保管下さい。

家庭用商品を学校、高齢者施設等、不特定多数の方のご利用になる場所ではご使用にならないでください。保証対象外となります。

Chuoh-health

目次

目次	P 2
安全上の注意	P 3～P 6
HJ-2021特徴	P 7
内容物	P 8
組立手順	P 9
組立方法	P 10～P 12
ご使用の前に	P 13
コントロールパネル説明	P 14
簡単操作	P 15
運動時間設定	P 16
トラブルシューティング	P 17
エラーと故障内容	P 18
走行ベルトの調整	P 19～22
メンテナンス	P 23
分解図	P 24
保証書	

安全上のご注意 1

お使いになる前によくお読みください

- ここに示した警告サインと図記の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告サイン	内 容	図記号の例
 警告	●誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。 ●誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害☆の発生が想定される内容を示します。	 △記号は注意(警告を含む)を表示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は“感電注意”を示します。  記号は禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、 の中や近くに文章や絵で示します。  記号は強制(必ず守ること)を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は“一般的な強制”を示します。

☆物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットに関わる拡大損害を示します。

 警 告		 注 意	
本機は、健康な人を対象とした商品です。心臓病、高血圧症、糖尿病、呼吸器疾患、変形性関節症、リウマチ、痛風、妊娠中のかた、その他病気や障害のあるかた、リハビリを目的とするかた必ず医師と相談のうえ使用してください。●事故や体調不良をおこす原因となります。		運動前のウォーミングアップ、運動後のクールダウンは必ず行ってください。日頃、運動していない方は徐々に強度を上げるようにして下さい。	
運動中、身体に異常(めまい、冷や汗、吐き気、脈拍の乱れ、動悸など)を感じたときは、ただちに運動をやめてください。健康を害する恐れがあります。		飲食後や疲労時、運動直後、または体力の状態が正常でないときは運動を行わないで下さい。ケガや健康を害する恐れがあります。	

● 本機を安全に使用していただくために必ず守っていただきたいこと

 注 意		 注 意	
本機は、取扱説明書に従って正しく使用してください。 ・ケガをする恐れがあります。		ご使用前に、ベルトに亀裂や摩耗などの変化がないか、接地部分のガタツキはないか接合部に異常が無い確認して下さい。使用中に破損すると危険です。	
ベルトが一方に片寄ってきたり、はずれそうになったときは、使用を中止し、ただちにベルト調整ネジで調整してください。 ・ケガをする恐れがあります。		乗降する場合などにハンドルにもたれかからないように、注意してください。 ・転倒やケガをする恐れがあります。	

安全上のご注意2

 警 告	
運動に適した服装で使用してください。 回転、駆動部に巻き込まれる恐れがある 為、ひも類のない服装にしてください。 ・ケガをする恐れがあります。 ・衣服を損傷する恐れがあります。	
本機は、運動に適した靴を履いて使用し てください。 ・ケガをする恐れがあります。	
トレーニング中は必ず安全キーを使用し てください。 ・事故を誘発する恐れがあります。	
ベルト幅の中央を歩いてください。 ・ベルトの端や左右に片寄って歩くとベ ルトの偏りや摩耗、破損の原因となり、 ケガをする恐れがあります。	
運動開始時に走行ベルトに乗ったまま ベルトをスタートさせないで下さい。 故障の原因となります。	
動かない場合や異常を感じた時は使 用を中止し、電源スイッチを切り、 電源プラグを抜き、ご購入した販売店 もしくは弊社お客様サービス 東日本(03-6659-9061) 西日本(052-501-2577)までご連絡下さい。 その際は本機下部前側に貼ってあるシリ アルナンバーをお伝えいただくと出荷日 等がわかります。	

 警 告	
最大使用体重は 100kg です。体重が 100kg を超えるかたは使用しないで ください。	
使用中に破損する恐れがあります。 安全装置が作動し、ベルトが急に停 止する恐れがあります。	
同時に2人以上で使用しないでくだ さい。	
ケガをする恐れがあります。	
本機は別の用途に使用しないでください。	
ケガをする恐れがあります。	
走行中、歩行デッキに飛び乗ったり、 飛び降りたりしないでください。また、 トレーニング中に本機を動かしたり、 周囲の人が使用者を押ししたりしないで ください。	
事故の誘発や転倒の恐れがあります。	
トレーニング中、ベルトの走行方向に対 し逆方向につっぱったり、足をひきずる ような歩行はしないでください。	
ベルトに無理な力が掛かり、安全装 置が作動し、ベルトが急に停止する 恐れがあります。	
ベルト調整中はベルトに触れないで 下さい。	
ケガをする恐れがあります。	
分解や修理、改造を行わないで下さい。 発火したり故障や事故の原因となりま す。	

安全上のご注意3

⚠ 警 告	
保護者の方はお子様が本機で遊ばない様にご注意下さい。	⊘
本機を使用しないときはお子様がぶら下がったり、寄りかかったりしない様に注意して下さい。	
ケガをする恐れがあります。	

⚠ 注 意	
お子様が保護者の指導監督無しに勝手に使用しないようご注意ください。	!
ケガをする恐れがあります。	

設置や移動するときに必ず守って頂きたいこと
(テレビ等電磁波の発生する機器より2m以上離れた場所に設置して下さい)

⚠ 注 意	
乗降りや運動に十分なスペースを確保して下さい。	!
事故の誘発や転倒の恐れがあります。	
水平な堅い床の上に設置して下さい。	
・転倒してケガをする恐れがあります。 ・本機が沈み込み、畳、じゅうたんにベルトがかすれて損傷したり、摩耗熱で発火、発煙の恐れがあります。	
各部分の取付ネジ、固定用ネジなど確実に取り付けられているか、また調整部が適切に調整されているかどうか確認して下さい。	
ネジが緩んだまま本機を使用するとケガをする恐れがあります。	
本機の下に破れにくく、滑りにくいシートなどを敷いてください。	
・床を傷から保護します。 ・転倒した場合に衝撃を和らげます。	
電源プラグや電源コードは濡れたり燃えやすい物が近くに無いか確認して下さい。	
・感電、発火の原因になります。	

⚠ 注 意	
設置や移動する時は、電源プラグを抜いてください。	⊘
・感電する恐れがあります。 ・事故の誘発やケガをする恐れがあります。	
屋外や浴槽付近、湿気やホコリの多いところ、水滴などが掛かる場所には設置したり保管しないで下さい。	
・感電する恐れがあります。 ・錆が発生したり故障の原因になる恐れがあります。	
ベルト面が直射日光に当たる場所や、高温の場所には設置しないで下さい。	
ベルト面が直射日光にあたる場所や高温の場所には設置しないで下さい。	
・ベルト劣化の原因となります。 ・カバー等が変形する事があります。	
本機は重量物である為、無理な姿勢で持ち上げたり、支えたりしないで下さい。	
腰痛やケガの恐れがあります。	

安全上のご注意4



警告

電源プラグを濡れた手で抜き差ししないで下さい。

感電やケガをする恐れがあります。



注意

電源プラグはホコリを拭き取り、コンセントにしっかり根元まで差し込んで下さい。

感電・ショート、発火の原因になります。

使用中に電源プラグは抜けると急にベルトが停止してケガをする恐れがあります。



使用後は電源スイッチを切り、使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。

事故やトラブルに繋がる恐れがあります。



電源は必ず交流100V/20A単独回路で使用して下さい。

火災や感電の原因になります。



タコ足配線はしないで下さい。

火災や感電の原因になります。



注意

電源プラグを引き抜く時は電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。

電源コードが断線やショートして火災や感電の原因になります。

アースは確実に取り付けて下さい。またガス管や水道管には絶対にアース線を繋がないで下さい。アース線を繋ぐ際は電源プラグをコンセントから抜いてください。

静電気や故障の時の感電防止の為にアースは必ず取り付けて下さい。アースの取付はお買い上げの販売店、電気工事店へご相談下さい。取付工事は有料です。

お願い

- 本機を火気あるいは熱源の近くに保管しないで下さい。

- 本機の表示ユニットが精密な電子部品でできています。移動する時に衝撃を与えたり振動の加わる場所でのしようは避けて下さい。

(動作が不安定になったり破損する場合があります)

- 本機の使用環境は+10～35℃です。

この温度範囲外での使用は避けて下さい。

(故障の原因となります。)

- 運動中は、たばこを吸わないで下さい。
- 本機を廃棄するときはお住いの市区町村に従って処分して下さい。

(環境汚染の恐れがあります)

HJ-2021特徴

操作ボタン

文字だけではなく、色、絵でもボタン位置を、わかりやすい様にデザインしてみました。説明する時に教えやすく、理解しやすいと思います。



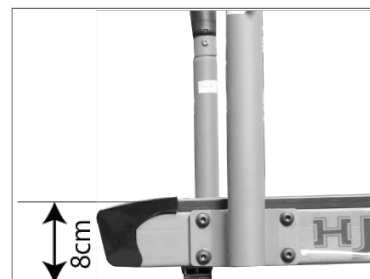
肘受けパット

標準装備で肘乗せパットが付いております。ボルトを緩めて、パット位置をお好みの位置に調整出来ます。



低床設計

走行面は地面から約8cm、オプションのスロープを使えば、さらに乗りやすくなります。

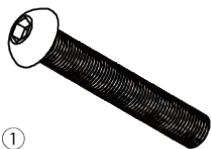


時間設定がしやすい

面倒なプログラムや体重入力は無く時間ボタンを押すだけで容易に運動時間が設定出来ます。



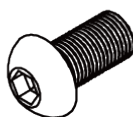
小物部品



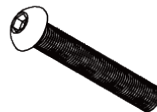
①
M8×60mm ボルト
2本



②
平ワッシャー
16枚



③
M8×16 ボルト
18本



④
M8×55mm ボルト
6本



⑤
ボルトガーニッシュ
4枚



⑥
湾曲ワッシャー
2枚



⑦
M6×15mm ボルト
4本



⑧
5mm L型レンチ
1個



⑨
6mm L型レンチ
1個



⑩
多機能工具
1個



⑪
安全キー
1個

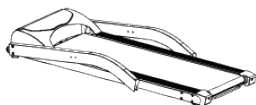
オプション



スロープ

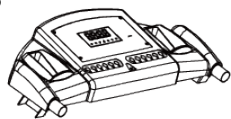
パーツ

A



本体

B



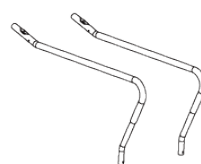
コントロールパネル

C



補強バー

D



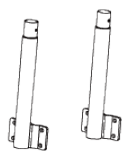
手すり

D



補強パイプ

E



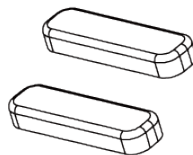
手すり台座

F



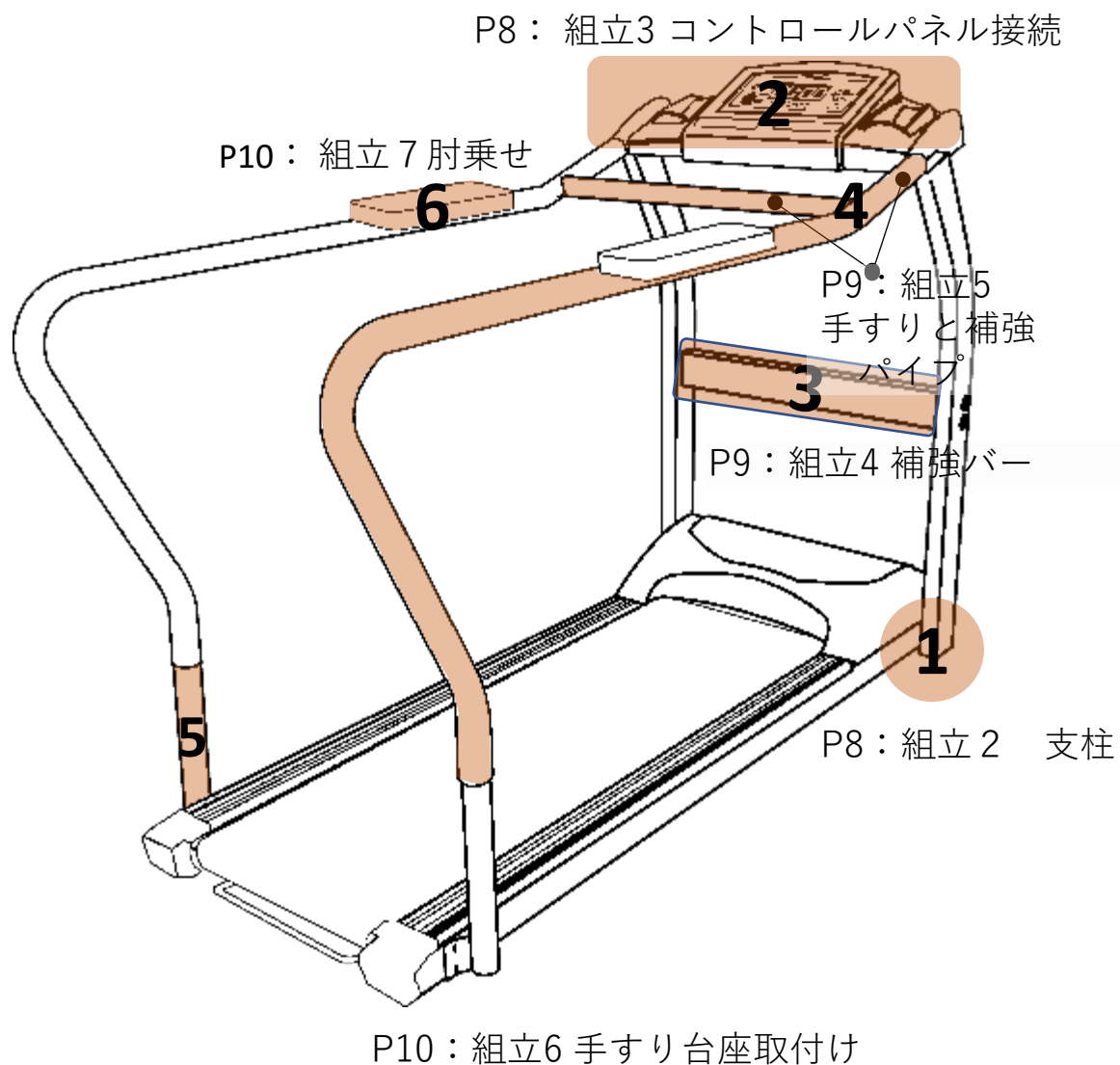
肘乗せ台ブラケット

G



肘乗せクッション

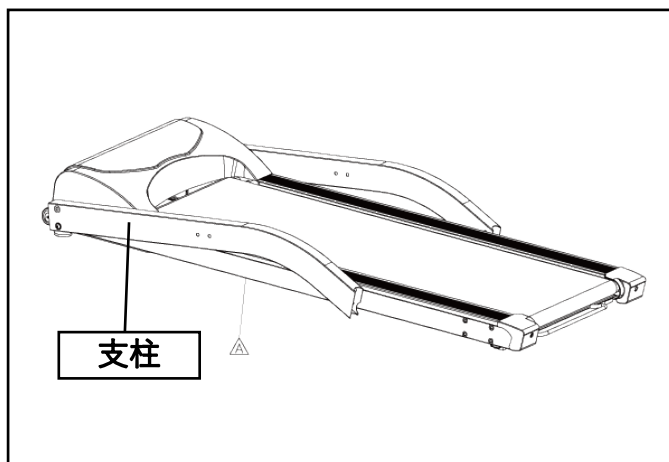
組立手順



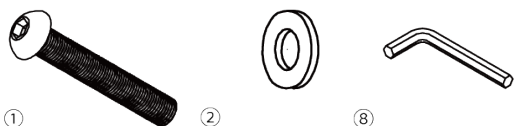
組立方法

組立1

箱から本体を取り出します。

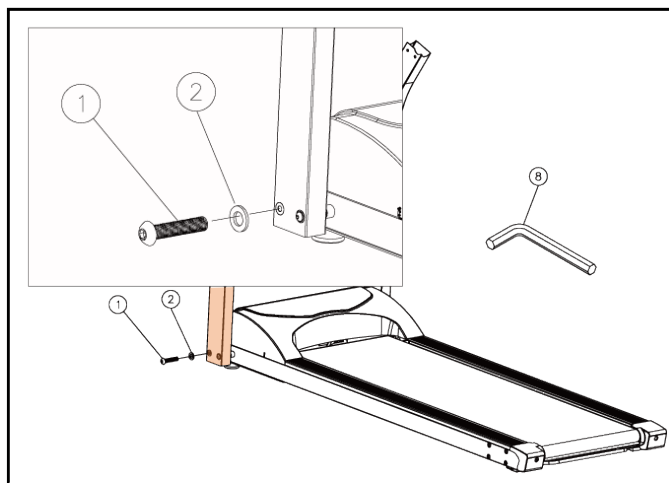


組立2 【支柱】



支柱を起こして①ボルトと②ワッシャーで固定します。

注意) 支柱が倒れてこない様、2人で作業して下さい。



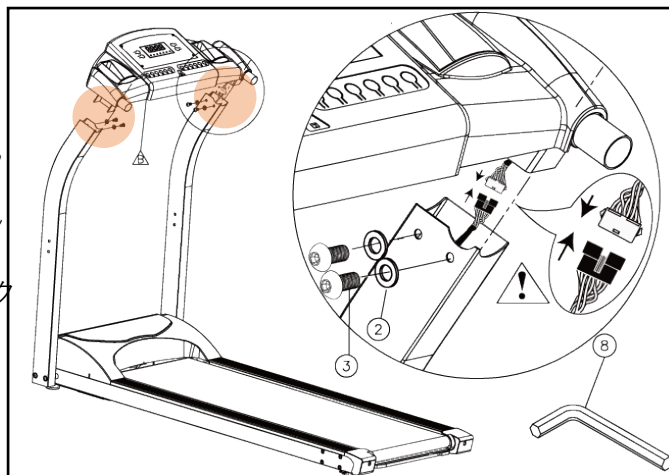
組立3 【コントロールパネル接続】



右側の支柱の中にある配線を解き、支柱側のコネクタとパネルから出ているコネクタを繋ぎます。

注意) コネクタは奥まで差し込むようにして下さい。

③ボルトと②ワッシャーで⑧L型レンチを使って、支柱とパネルを固定します。



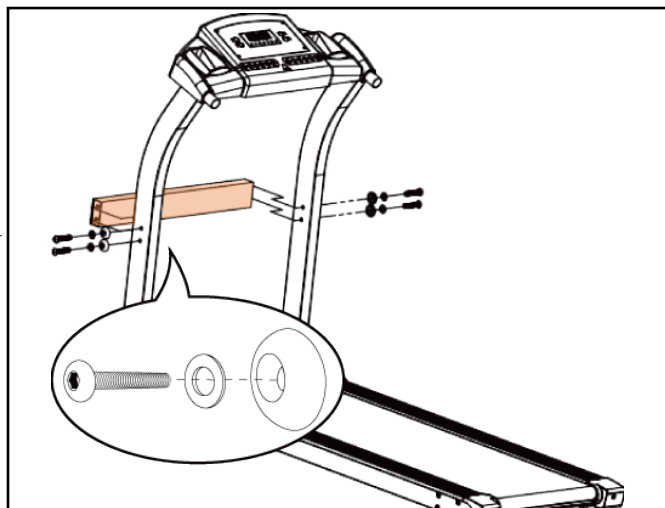
組立方法

組立4 【補強バー】



補強バーを支柱の間に取り付けます。

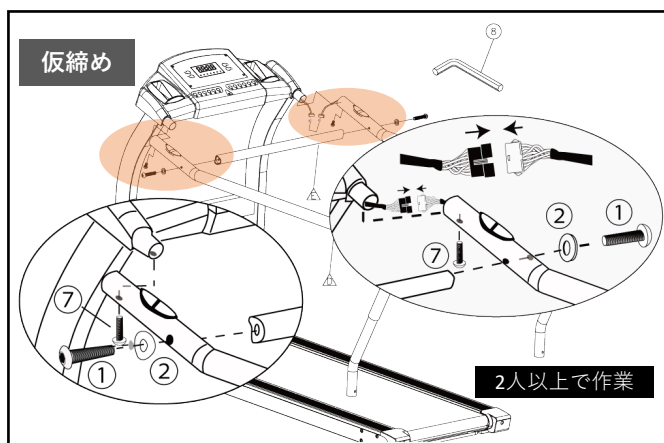
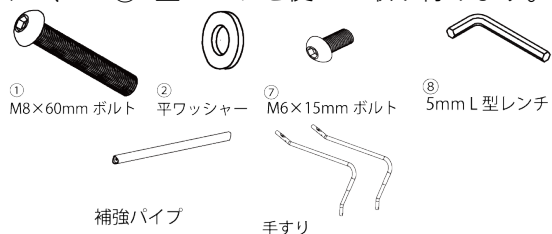
④ボルト、②平ワッシャー、⑤ボルトガーニッシュで⑧L型レンチを使って取り付けます。



組立5 【手すりと補強パイプ】

【手すり取付け】コントロールパネルから出ているコネクタと右手すり側のコネクタを差込みます。その後、⑦ボルトを使って、両側の手すりを**仮締め**で固定します。

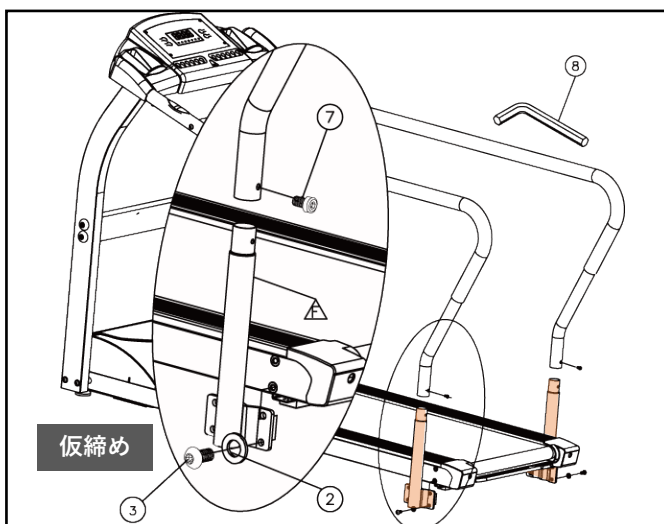
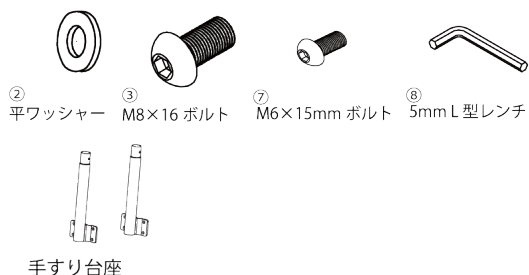
【補強パイプ取付け】①ボルト、②平ワッシャー、で⑧L型レンチを使って取り付けます。



組立6 【手すり台座取付け】

手すりを手すり台座にはめ込み⑦のボルトで**仮締め**します。次に1体型となった手すりを③ボルト、②平ワッシャー、で本体のフレームに4本取り付けます。全て入れたら仮締めしていたボルトを全て本締めして下さい。

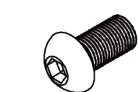
注意 ネジ穴はすべて出荷時に点検しておりますので、ボルトは無理に入れないで下さい。ボルトのネジ山が削れて入らなくなります。入りにくい場合は手すりのボルトを全体的に緩めて入れてみて下さい。



組立方法

組立7 【肘乗せクッション】

右図を参考に肘乗せクッションを③ボルトと肘乗せ台ブラケットで取付けます。位置は使いやすい位置で固定して下さい。



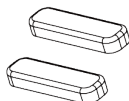
③ M8×16 ボルト



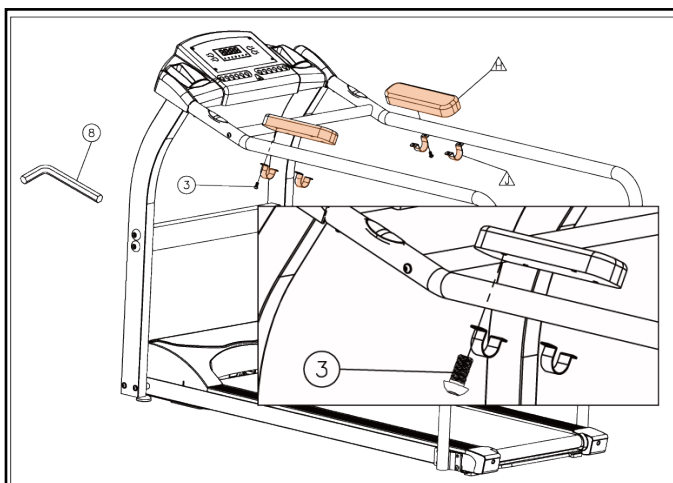
⑧ 5mm L型レンチ



肘乗せ台ブラケット



肘乗せクッション

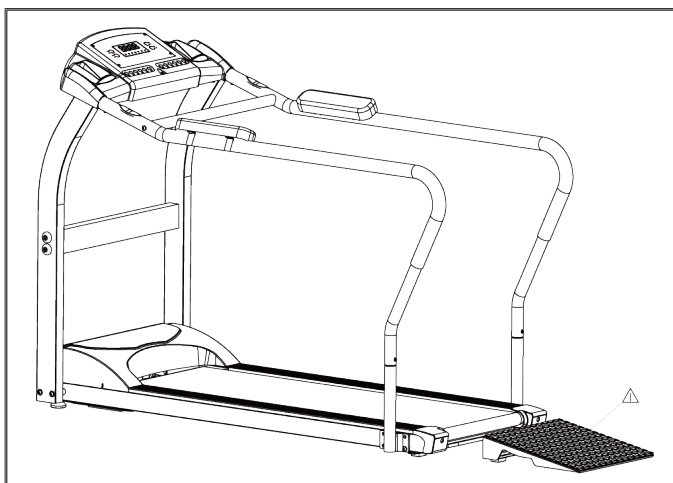


組立8 【オプション：スロープ】

右図の様に置いてください。



スロープ



ご使用の前に

コンセントについて

AC100 20A 単独回路にて使用してください。

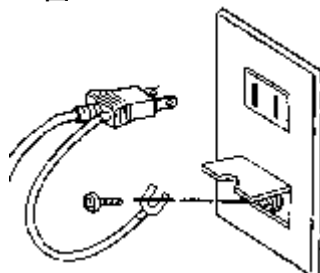
- ・延長コードを使用する場合は、3m(メートル)以内、1500W(ワット)のコードを使用してください。

1 アースを取り付ける

安全にご使用いただくためにアースは必ず取り付けてください。(図1参照)

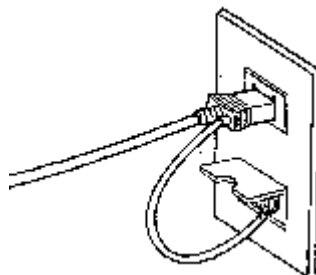
コンセントにアース端子がある場合、付属のアース端子を確実に取り付けます。
※アース線を接続するときは電源スイッチを必ず切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。

図1



アースの必要性について

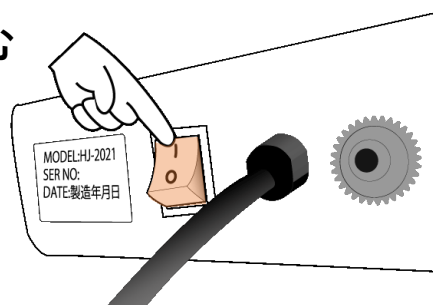
トレーニング中に着ているウェアの素材などにより、静電気が発生することがあります。帯電した状態で本機の金属部分に触ると一瞬で大きな電圧が本機に流れます。アースを取ってある事により、その大きな電圧がアースを伝わって逃げれることとなり、基盤等を保護してくれます。アースを取っていないと基盤などの電子部品の故障に繋がりますので、必ず撮って頂きます様お願いします。



2 電源プラグをコンセントに差し込む

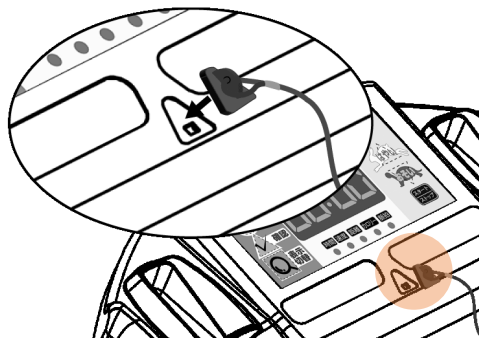
3 電源スイッチ

本体前下にある電源スイッチを「I」側に押し電源を入れて下さい。



4 安全キーをセットする

安全キーを右図を参考にコントロールパネルに取り付けます。もう片側のクリップは使用者の腰の辺りの衣服に止めます。



コントロールパネル説明



表示窓

時間表示範囲：0～99：59 故障時にはエラー番号が表示されます。

速度表示範囲：0.1～10.0km/h 0.1キロ単位ずつ増減されます。

距離表示：0.1kmずつ増加されます。

カロリー表示：単位キロカロリーずつ増加されます。

脈拍：1分間当たりの平均脈拍を表示します。



機能ボタン

時間ボタン：運動時間設定に使用します。5～99分

確認ボタン：運動時間を入力後に押して確定させます。

表示切替ボタン：運動中に時間、速度、距離、カロリー、脈拍のどれかを任意で見たいときに押します。



操作ボタン

はやい：0.1km/hずつにスピードを上げます。

おそい：0.1km/hずつにスピードを下げます。

上記ボタンは0.5秒以上押すと早く増減します。

タイマー時間入力時には、はやい/増、おそい/減の入力に使用します。

スタート/ストップ：運動開始または終了時に押します。

簡単操作

クイックスタートモード/マニュアルモード

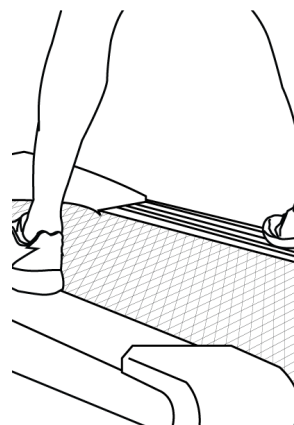
運動開始：本体の電源を入れ、安全キーをセットした状態でベルトに乗らず、**ステップに跨ってください。**

「スタート/ストップ」キーを押すと、カウントダウン「3、2、1」と表示され、走行ベルトがゆっくり動き始めます。**ベルトが動き始めてから乗ってください。**

運動中、速度は必要に応じていつでも「はやい/おそい」ボタンで調整できます。運動中に一旦停止したい場合は、スタート/ストップキーを押すと、走行ベルトがゆっくりと停止します。

運動終了時：「おそい」ボタンで徐々にスピードを落とし、サイドステップに足を乗せて運動を終了させます。

注意）安全キーを抜いて終了させないで下さい。故障の原因となります。



スリープモード

何も操作を行わず10分経つとスリープモードに入り、画面がすべてオフになり、いずれかのキーを押すだけで再起動します。

運動中に安全キーが本体から外れると、走行ベルトが停止し、「E07」または「---」を表示し、ブザーが「ビッ、ビッ、ビッ」とアラームが鳴ります。安全キーを所定の位置に戻して下さい。

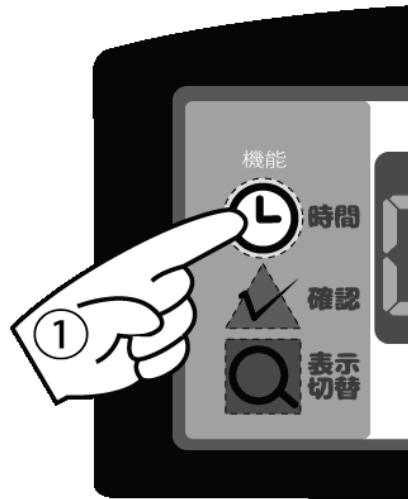
運動目的別脈拍一覧表

運動状態	年齢	運動強度	運動中	運動開始	開始前	運動状態	年齢	運動強度	運動中	運動開始	開始前
10代	198	166	140	113	87	50代	165	144	123	102	81
20代	189	161	136	110	85	60代	158	138	119	99	80
30代	179	155	131	108	84	70代	151	133	115	98	78
40代	172	150	127	105	82	ランニング	心臓強化	脂肪燃焼	軽い歩行	準備中	

運動時間設定

運動時間設定方法

- ① 電源を入れて、時間ボタンを押します。



- ② 【はやい】 【おそい】 ボタンで時間を設定
設定可能時間5～99分、1分刻みで入力



- ③ 時間入力後に確認ボタンを押します。



- ④ 【スタート/ストップ】を押して運動を開始します。

時間表示はカウントダウンされていきます。

設定した時間に到達すると走行ベルトは「ピー」という音と共に自動で止まります。



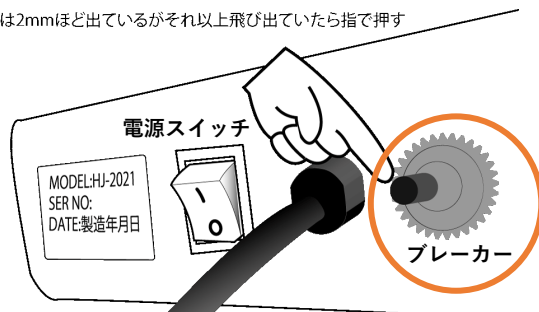
トラブルシューティング

電源が入らない場合

下記を確認してください。

1. 本体前面にある電源スイッチは入っていますか？
入っていない場合はスイッチをI側へ入れてください。
2. ブレーカーを確認してください。
ブレーカーがとんだ時は下記の絵のようにとびです。
指で押して解除して下さい。

通常は2mmほど出ているがそれ以上飛び出していたら指で押す



ブレーカーがとぶ原因は走行ベルトが回っている時に摩擦抵抗が大きくなり過電流が流れて基盤保護のためにとぶ事が多いです。下記のチェックをしてみてください。

はじめに通常の運動するようなポジションでマシンの上に立ち、電源を入れずに足の力のみで走行ベルトを蹴るようにして動かして次の2点をチェックしてください。



①走行ベルトはスムーズに回りますか？

- 回らない場合はモーターの故障、ローラーの故障、走行ベルトの消耗などが考えられます。まずはシリコンを塗って、それでも変わらなければすぐに購入店までご連絡下さい。

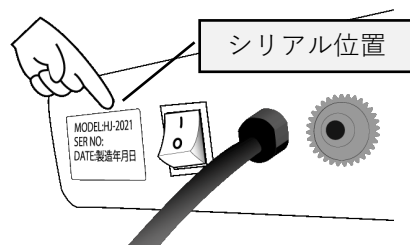
②異音はありませんか？

- モーター、ローラーのベアリングの故障、モーターの駆動をローラーに伝えるためのタイミングベルトの消耗などが考えられます。モーターカバーを開けて音の出る場所を出来るだけ特定してみてください。

上記に当てはまる場合は購入店へご連絡下さい。

エラーと故障内容

使用中に不具合が起きるとエラー番号等がパネルに表示されます。下記の表でご確認下さい。また、修理が必要となる場合はご購入店にご連絡下さい。その際に本体前の下側、電源プラグソケット付近に貼ってあるシリアルナンバーもお伝えいただくと大変助かります。



表示番号	原因	対処法
Er1	モニター基盤に通信が来っていない	組んだ時にコネクタを接続した箇所をチェックして下さい。
SAFE	安全キーがセットされていません。	所定の位置に取り付けて下さい。 プラグが緩んでいないか確認して下さい。
Er3	過電圧エラー	電圧が100Vかどうか確認して下さい。
Er4	過電流エラー	走行ベルトの滑りが悪い事が考えられます。シリコンを塗布して下さい。(P23メンテナンスページ参照) 建物自体の電圧が低い場合は電気業者へお問い合わせ下さい。 単独コンセントで常時1500W流れる回路でご使用下さい。
Er5	過負荷エラー	走行ベルトやモーターが過負荷になっています。 回転しているところに何が挟まれていますか？ 走行ベルトがシリコン不足やひどく摩耗していませんか？ 走行板がひどく摩耗していませんか？
Er6	モーター回路の故障	モーターもしくはモーター基盤の故障 ご購入店にご連絡下さい。
Er7	モーター基盤に通信が来っていない	モーターカバーを開けて、配線が抜けていないか確認して下さい。もしくは基盤の故障。ご購入店にご連絡下さい。
Er13	基盤の内部ショート	基盤交換 ご購入店にご連絡下さい。
Er14	負荷ショート	モーター交換 ご購入店にご連絡下さい。
	ボタンが効かない	コントロールパネルのシール基盤の故障、もしくはパネル基盤の故障。ご購入店にご連絡下さい。
	モニター表示されません	本体の電源スイッチがONになっていますか？安全キーは付いていますか？ご購入店にご連絡下さい。

走行ベルトの調整方法

はじめに

走行ベルトは人の体重がかかりながらも回る最も重要な部分です。

ベルトが滑りやすいように日ごろのメンテナンスが必ず必要となります。

購入時は走行ベルトが固いため、早ければ約 1 週間ぐらいで調整が必要となる場合もございます。

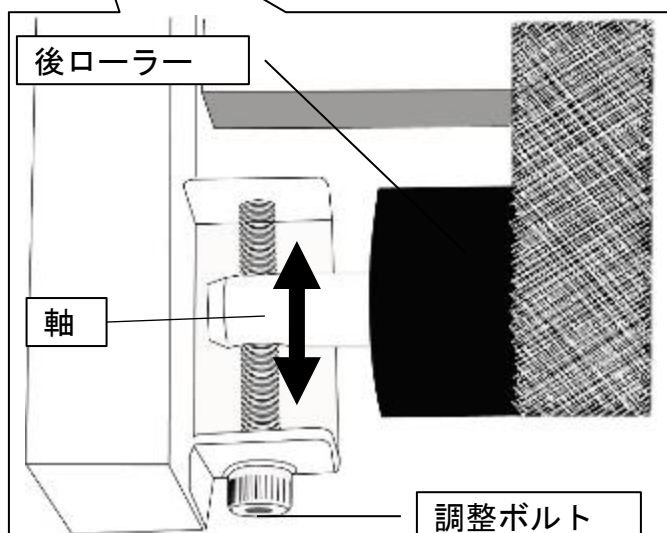
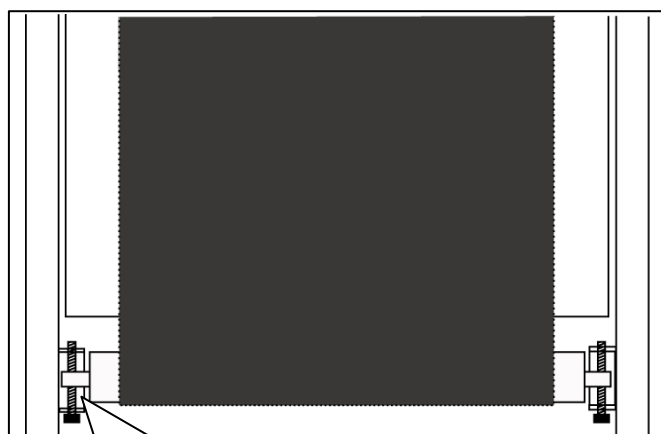
ベルト調整が必要となる症状

1. 走行ベルトが左右どちらかに寄っている。
2. 歩行中（走行中）に左右どちらかの足を前に着地した時に走行ベルトだけ止まるような感じがする。



1. 走行ベルト調整の仕組み

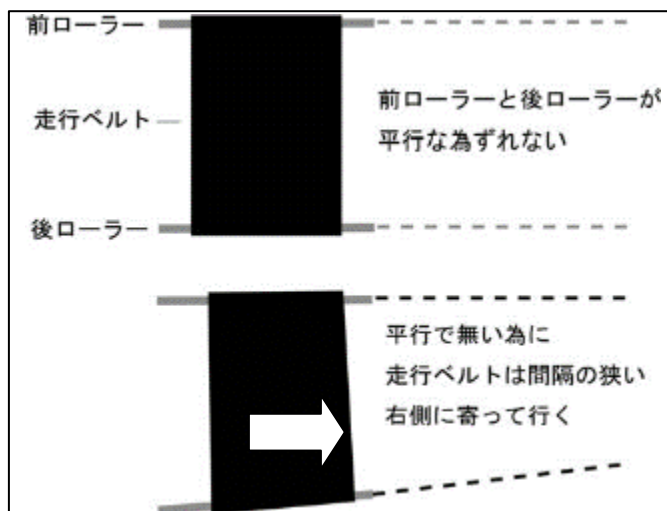
ルームランナーの後方の左右にあるカバーのネジを外すと、右図のように後ローラーの左右の軸に対して直角に調整ボルトが付いています。このボルトを回すことにより、後ローラーの軸にもネジ山があり、前後するような仕組みです。



前ローラーと後ローラーは上から見て平行でなければなりません。

どちらかの間隔がずれた場合は右図のようになります。

その際は寄った側の調整ボルトを回して調整が必要です。

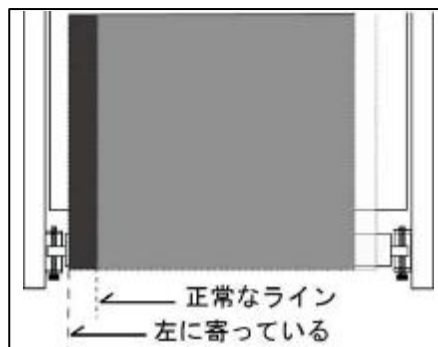


2. 走行ベルトの調整の仕組み

走行ベルトがずれる原因として考えられる原因

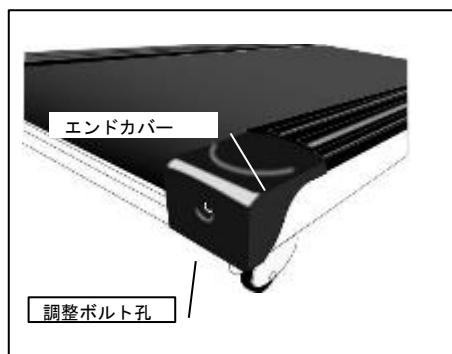
- 使用者の効き足の蹴る力
- 走行ベルトの伸び（消耗）
- 設置面の傾き

右図のように走行ベルトが左に寄っている場合の調整方法を説明します。



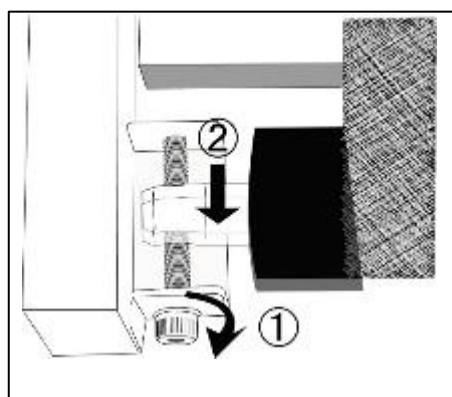
前ページで説明したように前後ローラーが平行で無い為、左に寄った場合は

左側の後カバーの孔に、付属の六角レンチを使って、調整ボルトを回して調整します。右に寄った場合は右の調整ボルトを回して調整します。



右図はカバー内部の仕組みを分かりやすくするためのものです。

調整ボルト①を六角レンチで右に回すとローラーの軸②が後に下がります。左に回せば軸は前に移動します。



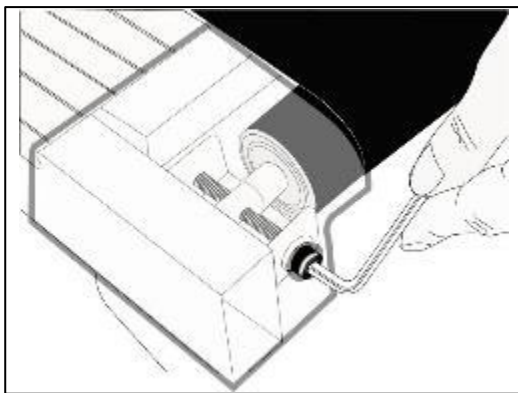
3. 走行ベルトの調整方法

1.

初めにルームランナーの電源を入れて走行ベルトを時速 2km/h ぐらいで動かしながら調整してください。

1 度に回す目安として六角レンチは 90 度ぐらいが目安です。

あくまでも 90 度と言うのは目安ですので実際に走行ベルトが移動するのを目で見ながら微調整してください。



2.

おおよそ走行ベルトが中心に寄ったら、時速 6km/h ぐらいに速度を上げて、人が乗らない状態で微調整を続けます。

微調整の際に逆側に寄りすぎた場合は調整ボルトを少し左回しにしたりして調整します。

3.

最後に実際に走行面に乗って、時速 4～6km/h ぐらいで走行ベルトを回し、通常よりも少し強めに踏ん張るように踏み込みながら歩行してください。

走行ベルトだけが滑るような感じでしたら左右の調整ボルトを同じ回転だけ右回ししてください。ちょうど滑らなくなったところが適正の走行ベルトの張りです。



その後、通常通りの走行をしてベルトのズレを確認してください。

異常なければ走行ベルトの調整は完了です。

まだズレる場合はズレた方の調整ボルトを少しずつ右まわして中心によるように調整して下さい。

4. メンテナンス

シリコンスプレーの噴霧の方法

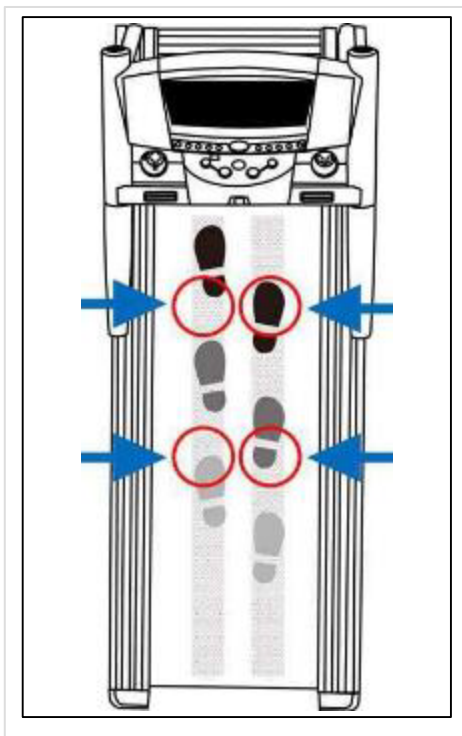
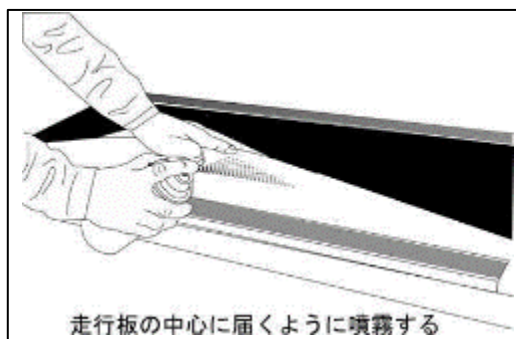
シリコンスプレーは必ず必要です！故障の原因のほとんどが走行ベルトの滑りからによるものです。

走行ベルトは常に人の体重を乗せて走行板の上を滑っています。シリコンスプレーを噴射する事で走行ベルトの潤滑をやすくしており、モーターやコンピューター基盤等に負担が掛からないように助ける役目もしています。ルームランナーは3～5日毎で噴霧して下さい。

長期間使用しなかった場合もシリコンが乾燥しますので、必ずご使用前に噴霧して頂きますようお願いいたします。

走行ベルトのお手入れ

1. 走行ベルトと走行板の間に手を入れて、手の甲でベルトを持ち上げるようにします。
2. 走行ベルトの足が乗る辺りの走行板側にシリコンスプレーが届くように左右から噴霧します。(右図赤丸部分)
3. その後、人が乗った状態で走行ベルトを回して、足の裏で伸ばすように回します。



6ヶ月ごとのお手入れ

●モーターカバー内の清掃

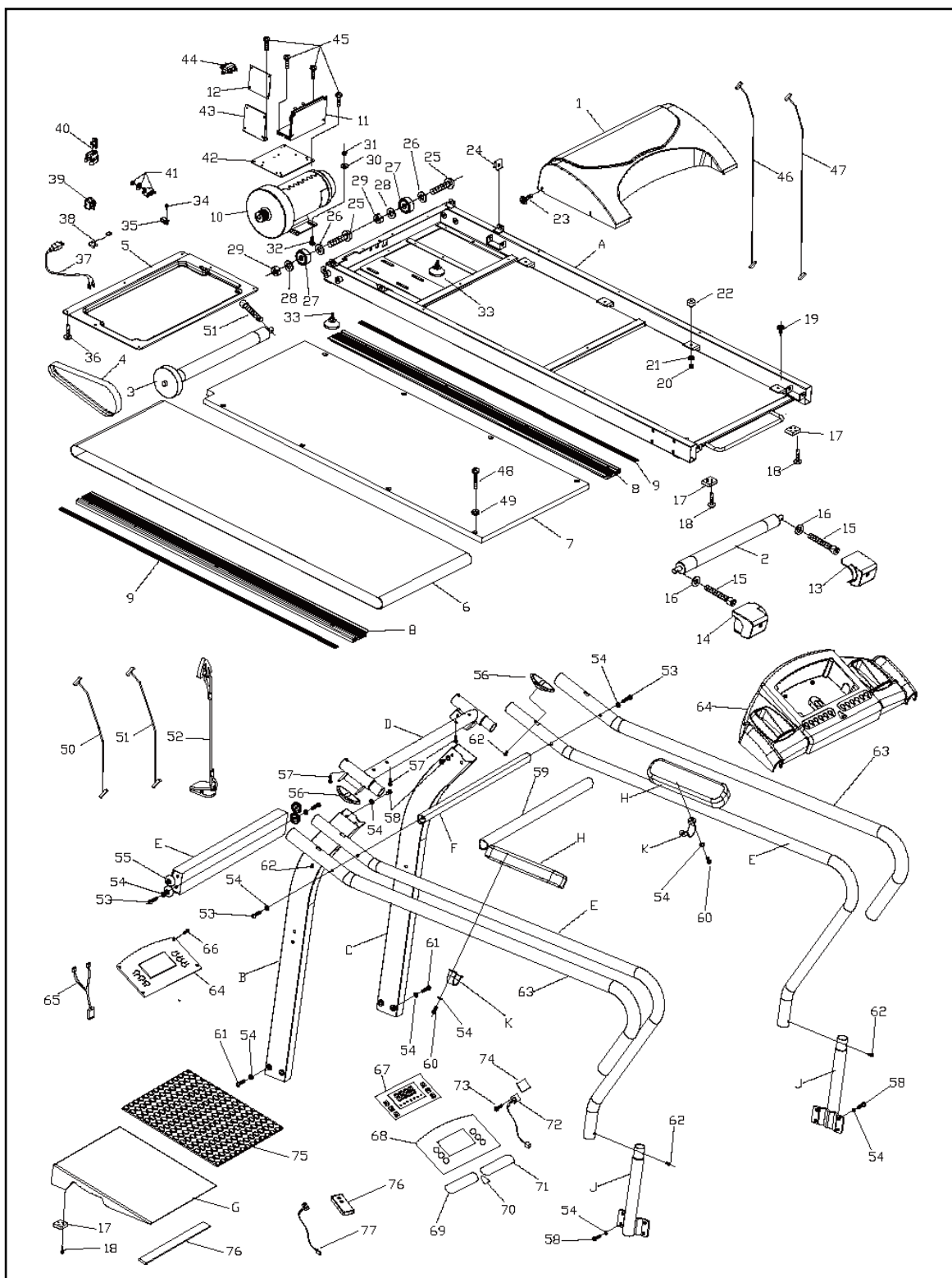
コンセントを必ず抜いてください。モーターカバーのネジを外してカバーを開けて、カバー内のホコリなどを取り除いてください。

●走行板の拭き取り清掃

後ローラー調整ボルトを緩め、走行板を中性洗剤を含ませた雑巾などで綺麗にホコリなどを拭き取ってください。拭き取り後、走行板にシリコンを噴霧もしくは塗布してから走行ベルトを調整します。(走行ベルトの調整の仕組み参照)

5. 分解図

破損や故障のあった時は図のパーツ番号をお知らせください。



保証規定(準業務用)

※お断りなく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

- 1.)取扱説明書に従った正常な使用状態で、お買い上げ後2年以内に故障した場合には
パーツを無償でお送りいたします。
- 2.)保証期間内に故障した場合は、本書をお手持ちの上、ご購入店または弊社へご連絡下さい。
- 3.)保証期間内でも次の場合には有償修理となります。
 - ・使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障および損傷
 - ・弊社から出張での修理依頼
 - ・天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - ・本書の提示がない場合また、お買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入がない場合
 - ・故障の原因が本製品以外に起因する場合
 - ・車両や船舶等に設置された場合に起因する故障および損傷
 - ・消耗品(走行ベルト・モーターVベルト・手すりラバー・コントロールパネルシール・カバー類)
- 4.)本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管して下さい。
- 5.)この保証書は本書明示した期間、条件の元において無償パーツ提供をお約束するものです。
したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この度は、中旺ヘルスの健康機器を、お買い求め頂き、誠にありがとうございました。本機は厳重な検査を行い、高品質を確保しております。しかし通常において万一、不具合が発生した場合は保証規定により、お買い上げ後2年間は無償でパーツを保証致します。なお、出張修理のご依頼の場合は有料となります。

品質保証書

この度は、弊社製品をお買い求めいただきありがとうございました。
本機は厳重な検査を行い高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生した時は保証規定によりお買い上げ後、2年間は無償にてパーツ保証致します。
注意) 弊社からの出張修理をご依頼の場合は有償となります

※本機の保証は、日本国内での使用の場合に限りです。
This warranty is valid only in japan.

品名：ヘルスジョガー

型式：HJ-2021

お名前：

ご住所：

TEL ()

お買い上げ店名：

(印)

ご住所：

TEL ()

お買い上げ年月日 年 月 日

本社：〒452-0011 愛知県清須市西枇杷島町城並3丁目2-2

E-mail : hj@jp-chuoh.com URL : www.jp-chuoh.com

TEL(052)501-2577

東京営業所：TEL : (03)3835-4399

2021'3